



「関西スタートアップ・エコシステム情報発信事業」 第 2 期情報発信戦略の策定について

令和 8 年 4 月 23 日
広域産業振興局

広域産業振興局では、スタートアップ・エコシステムの形成を目指し、令和 3 年度に策定した情報発信戦略（2021－2024）に基づき、ポータルサイトを活用した情報発信やピッチイベントの開催、海外のスタートアップ関連データベースへの記事掲載などに取り組んできました。

今般、ディープテック・スタートアップを生み出す関西のポテンシャルの高さをさらに訴求し、大阪・関西万博を契機として、世界における関西のプレゼンスをより一層高めていくため、2029 年度までの第 2 期情報発信戦略を策定しました。

今後、本情報発信戦略に基づき、グローバル拠点都市の活動をはじめとする各地域の動きとの相乗的な発信を行い、関西のポテンシャルや将来性を国内外へ強力に発信し、様々なスタートアップや投資家、人材、企業等の集積につなげてまいります。

記

【第 2 期情報発信戦略の概要】

◆現状

- ・ 関西は大学や研究機関の集積、産学官の連携等、エコシステム環境も整備されており、今後の成長ポテンシャルは十分に期待ができる
- ・ 前期情報発信戦略、拠点都市の選定、構成府県市の取り組みを通じ、**Global Startup Ecosystem Ranking**〔**GSER**(※)〕の向上等、成果は出始めてきている

※ **GSER**：世界中のスタートアップ・エコシステムを資金調達、成長性、イノベーション力などの指標で評価・ランキングするレポート

※ **KANSAI** のランキング（新興エコシステム部門）

2025 年：71 位－80 位層 ←2024 年：81-90 位層 ←2023 年：圏外

- ・ 一方で、同経済規模の都市と比較するとスタートアップの数およびユニコーン企業数が少なく、**GSER** のランキングも低い。

- 関西が強みとするディープテックを軸に、域内の活動を強化するとともに、そのポテンシャル、活動、成果について、世界に対して効果的な発信を行うことでランキングの維持向上が期待できる。

◆戦略方針

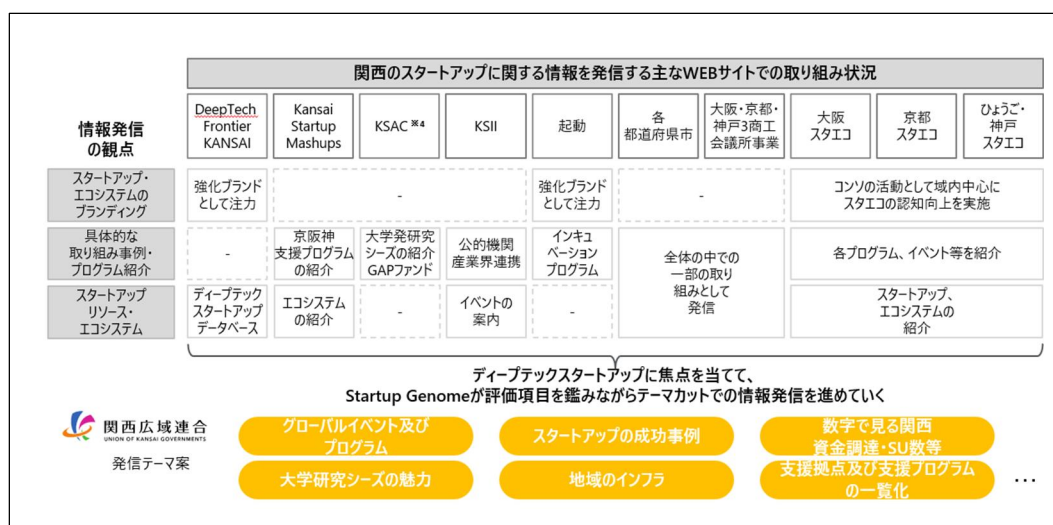
- 1 「Deeptech Frontier Kansai」の統一ブランドを用いた支援活動、発信の強化
- 2 域内のスタートアップ及び強み・ポテンシャルに関する情報収集・整理
- 3 海外データベース等の活用を通じた海外認知のための情報発信強化

◆具体的取組

- 1 各構成府県市やグローバル拠点都市（京阪神）の活動と連携し、統一ブランドのもと、域内のディープテックの支援活動を強化するとともに、HP や SNS を通じた発信を強化。



- 2 GSER の評価項目を踏まえ、域内の様々なスタートアップに関する情報発信や取り組みについて、ディープテックに焦点を当てて情報を収集、整理し、効果的な情報発信を図る。



- 3 海外データベースへの情報登録のほか、スタートアップに関する情報の日英文記事の作成や海外メディアへの掲載、HP や SNS での継続的な発信を行う。
加えて、“Global Startup EXPO 2026”等の国内での国際イベントや、海外でのスタートアップ関連のイベントを活用した情報発信を行う。

Global Startup Ecosystem Ranking(GSER)※3の維持・向上と、
関西がディープテック・スタートアップの世界的な拠点であることの
認知、向上をめざす